



令和2年9月1日
十日町市博物館

国宝の競演・新館オープン記念秋季特別展を開催します

新十日町市博物館のオープンを記念して、秋季特別展「縄文の遺産―雪降る縄文と星降る縄文の競演―」を開催します。新潟県と長野・山梨県では、それぞれ縄文をテーマとした日本遺産ストーリー「なんだ、これは！信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」と、「星降る中部高地の縄文世界」が認定を受けています。

特別展では、中部地方に華開いた縄文文化を紹介します。長野県茅野市所蔵の国宝「縄文のビーナス」（土偶）と、当市所蔵の国宝「火焰型土器」が競演するまたとない機会です。その他に山梨県内出土の重要文化財指定の土器3点も展示されます。また、関連イベントとして記念講演会を開催します。

1 会期・観覧料など

- ・会 場 博物館 企画展示室
- ・会 期 9月26日（土）～11月8日（日）
休館日：9/28、10/5・12・19・26（11/2は臨時開館）
- ・特別展観覧料 1,000円（常設展と共通、団体20名以上900円）
中学生以下無料
- ・開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

2 記念講演会「日本美術史における縄文的なるもの」

- ・講 師 やました ゆうじ 山下 裕二 さん（明治学院大学文学部芸術学科 教授）
- ・日 時 10月17日（土） 13:30～15:00
- ・会 場 博物館 講堂
- ・定 員 25名（要事前申込み、定員になり次第締切り、当日申込み不可）
- ・受講料 無料（特別展・常設展の見学は観覧料が必要）
- ・申込み 電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

3 報道機関向け展示説明会

- ・日 時 9月25日（金） 13:30～14:00

4 添付資料

- ・チラシ

■お問合せ先

十日町市博物館

担当：菅沼 亘 ☎025-757-5531

縄文の遺産

Jomon Heritage

—— 雪降る縄文と星降る縄文の競演 ——

令和2年9月26日(土)～11月8日(日)



国宝「火焰型土器」(十日町市 所蔵) 高精細レプリカ Photo T.Ogawa



国宝「縄文のビーナス」(長野県茅野市 所蔵) 写真提供: 茅野市尖石縄文考古館

記念講演会「日本美術史における縄文的なるもの」

講師: 山下 裕二 さん (明治学院大学文学部芸術学科 教授)
日時: 10月17日(土) 13:30～15:00
会場: 博物館 講堂
定員: 25名 (要事前申込み・定員になり次第締切・当日申込み不可)
受講料: 無料 (特別展・常設展の見学は観覧料が必要)
申込み: 電話・FAX・メールのいずれかで博物館へ

<お願い>

- ・入館にあたってはマスクを着用してください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、入館制限を行います。
- また、上記の内容が変更・中止になる場合があります。

観覧料: 1,000円 (常設展と共通・団体20名以上900円)
中学生以下無料

開館時間: 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日: 9/28、10/5・12・19・26

十日町市博物館



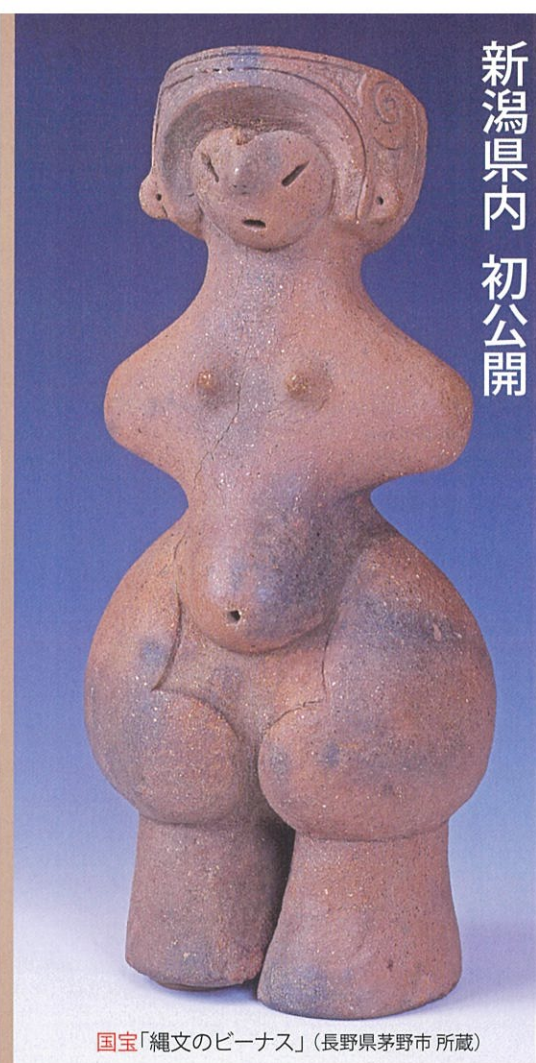
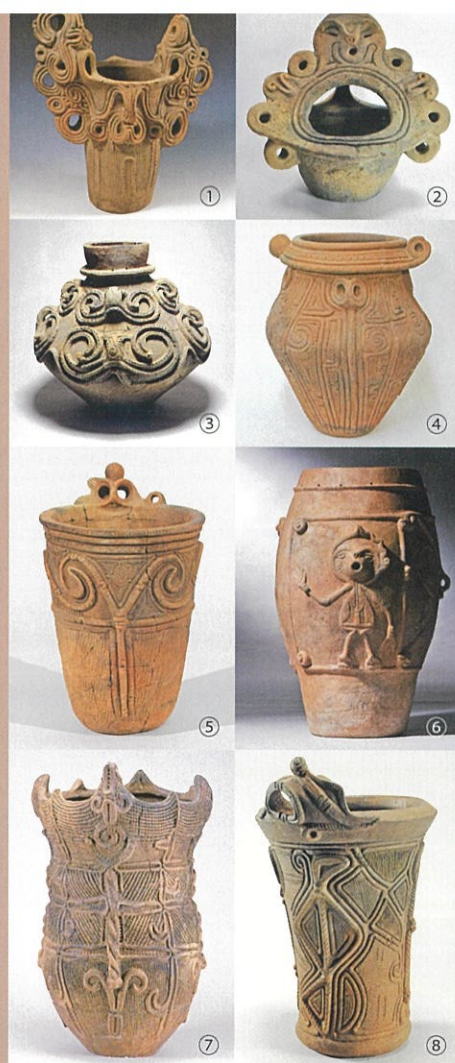
信濃川火焰街道

〒948-0072 新潟県十日町市西本町1-448-9
TEL: 025-757-5531 / FAX: 025-757-6998
e-mail: museum.10@city.tokamachi.lg.jp

共催: 信濃川火焰街道連携協議会・博物館友の会



国宝「火焰型土器」(十日町市所蔵)
Photo T.Ogawa



国宝「縄文のビーナス」(長野県茅野市所蔵)

①曾利遺跡 水煙渦巻文深鉢(井戸尻考古館所蔵) ②前尾根遺跡 顔面装飾付釣手土器(原村教育委員会所蔵) ③花上寺遺跡 貼付文有孔鏝付土器(市立岡谷美術考古館所蔵) ④重文・釈迦堂遺跡深鉢形土器(釈迦堂遺跡博物館所蔵) ⑤荒神山遺跡 動物装飾付深鉢(諏訪市博物館所蔵) ⑥重文・鏝物師屋遺跡 人体文様付有孔鏝付土器(南アルプス市教育委員会所蔵) ⑦棚畑遺跡 貼付文深鉢形土器(茅野市尖石縄文考古館所蔵) ⑧重文・一の沢遺跡 人体文土器(山梨県立考古博物館所蔵) ①は田枝 幹宏氏、③・⑧は小川 忠博氏による撮影、写真提供は資料所蔵者

<テーマ>

新潟県と長野・山梨県では、それぞれ縄文をテーマとしたストーリー「なんだ、これは! 信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」と、「星降る中部高地の縄文世界」が日本遺産の認定を受けています。縄文時代中期に3県が位置する中部地方では、新潟県の火焰型土器や長野・山梨県の水煙文土器など、過剰なまでに装飾が施された土器が作られていました。これら3県から出土している土器、土製品、石製品などの優品(国宝・重要文化財含む)を集め、中部地方に華開いた独自の縄文文化を紹介します。

<主な展示品> 上に写真を掲載した資料以外

I 雪降る縄文の世界 —信濃川流域の縄文文化—

- 高平遺跡 火焰型・王冠型土器(村上市教育委員会 所蔵)
- 川久保遺跡 王冠型土器(新潟県教育委員会 所蔵)
- 秋葉遺跡 王冠型土器(新潟市教育委員会 所蔵)
- 長野遺跡 火焰型・王冠型土器(三条市 所蔵)
- 耳取遺跡 ヒスイ製大珠(見附市教育委員会 所蔵)
- 馬高遺跡 火焰型土器(長岡市教育委員会 所蔵)
- 野首遺跡 火焰型・王冠型土器(当館 所蔵)
- 正安寺遺跡 火焰型土器(魚沼市教育委員会 所蔵)
- 原遺跡 火焰型土器(南魚沼市教育委員会 所蔵)
- 諏訪前遺跡 火焰型土器(津南町教育委員会 所蔵)
- 塔ヶ崎遺跡 火焰型土器(上越市教育委員会 所蔵)
- 川内遺跡 王冠型土器(柏崎市立博物館 所蔵)
- 長者ヶ原遺跡 火焰型土器(糸魚川市教育委員会 所蔵)
- 長瀬新田遺跡 火焰型土器(長野県栄村教育委員会 所蔵)

II 星降る縄文の世界 —中部高地の縄文文化—

- 目切遺跡 壺を持つ妊婦土偶(市立岡谷美術考古館 所蔵)
- 竹宇1遺跡 顔面把手付土器(北杜市教育委員会 所蔵)
- 石之坪遺跡 土偶「ミス石之坪」(葦崎市民俗資料館 所蔵)
- 重文・酒呑場遺跡 ヒスイ製大珠(山梨県立考古博物館 所蔵)
- 三光遺跡 ヒスイ製大珠(笛吹市教育委員会 所蔵)
- 長田口遺跡 黒曜石原石(南アルプス市教育委員会 所蔵)

アクセス

- ・ほくほく線、JR飯山線 十日町駅から徒歩10分
- ・関越道 六日町IC、越後川口ICから車30分
- ・北陸道 上越IC、上信越道 豊田飯山ICから車80分

<記念講演会>

「日本美術史における縄文的なるもの」

講 師：山下 裕二 さん(明治学院大学文学部芸術学科 教授)
日 時：10月17日(土) 13:30 ~ 15:00
会 場：博物館 講堂

講師プロフィール

1958年、広島県生まれ。美術史家。東京大学大学院修了。室町時代の水墨画を中心に、縄文から現代までの日本美術史を論じるほか、展覧会プロデュースなど多方面に活躍。著書に『未来の国宝・MY国宝』(小学館)、『日本美術の底力「縄文×弥生」で解き明かす』(NHK出版)など多数。



十日町市博物館

URL : <https://www.tokamachi-museum.jp/>